

寒川町近代文化財調査要項

- 目 的 該当文化財の文化財的価値を確認するため。
 該当文化財の文化財的価値はどの程度なのか、他自治体の同様な近代文化財は県国市町村指定や登録文化財になっているのかを確認し、今後の保存活用方法の参考とする。
- 日 時 令和 8 年 1 月 16 日 13 時から 15 時ごろ
- 対 象 一之宮公園（一之宮緑道及び八角広場） 一之宮 3 丁目 2172-1 の一部
 西寒川支線跡
- 謝礼額 20,000 円（税、諸経費込）
- 内 容 現地にて西寒川支線跡の保存状態等の現状を確認し、今後の保存や整備に関する指導助言
- 調査者 小野田滋（公益財団法人鉄道総合技術研究所アドバイザー）
- 予 算 教育費 社会教育費 文化財保護費
 生涯学習の推進事業費 文化財保護事業費
 報償費 謝礼
 20,000 円

近代文化財調査（西寒川支線跡現地調査）報告

日 時：令和 8 年 1 月 16 日（金） 13 時から 17 時

参加者：調査指導者 小野田氏

神奈川県教育委員会：萩原氏

寒川町鉄道保存会：塚本氏、二村氏

寒川町観光ボランティアガイド：森氏

寒川町教育委員会：小林秀満

（公園内立会）寒川町都市計画課：大鷲靖幸、川村辰之

調査場所：寒川駅→大山踏切→大門踏切→ゲート広場→一之宮緑道→西寒川支線線路跡→八角広場→下河原バス停付近→一之宮第二排水樋管付近

* 現地調査後寒川町観光協会にて昭和期の相模線等の映像を鑑賞

・（小野田氏）当時の寒川駅や周辺線路等の図面があると良い。各駅の構内図は、鉄道博物館の資料室で保存されているはずなので一度調査すると良い。

・（森氏）花川用水付近から大門踏切付近に線路沿いに水路があり、一部大門踏切近辺で隆起している部分が駅などと間違えられることがある。

・（小野田氏）水路と線路の新旧関係も詳しく調べる必要がある。

・（森氏）川寒川線の線路の場所は不明。幹線道路と線路の間の道が当時の線路が通っていた跡か？

・（小野田氏）緑道、寒川公衆衛生社の壁付近に「通信工」と掘られたコンクリートの杭のようなものがある。この下に国鉄の通信ケーブル等があった印だったと思われる。

・（森氏）一之宮公園管理等近くの道路と交差する軌道跡は当時のもと思われる。当時は遮断機等無い踏切だったのではないか。（要確認）

・（小野田氏）上記踏切跡側に車輪のオブジェがあるが、相模線のものではないようだ。

・（小野田氏）寒川駅側の車輪については、「OY=国鉄大井工場」の刻印があり、ギヤボックスを載せられるようなでっぱりがあることから電車か気動車の車輪だったと思われる。

・（寒川町）一之宮公園内の線路は廃線時のものであり、位置もそのままである。

・（塚本氏）一之宮公園内の線路跡のバラストは相模川玉砂利ではないか。

・（小野田氏）レールは 30 キロのもの、レールを繋げる継目板ボルトの向きが同方向なので 30 キロとわかる

・（小野田氏）枕木は消耗品なので随時交換しており、保存できるものはそのままでも良いが、防腐加工したり、既に無い部分には新たなものも加えることも良い

・（小野田氏）枕木に数字が掘られているビスが打ってあり、本数や数字で意味をもつと思われる。

・（小野田氏）レールを繋げている部分の軌道回路用のレールボンドが切られている

- ・(塚本氏) レールの刻印等記録時はスケールを入れて写真を撮るとよい
 - ・(森氏) 一之宮公園南西側の道路と交差する軌道も当時のものと思われる。
 - ・(小野田氏) 上記の側にある車輪は相模線のものでは無いと思われる
 - ・(小野田氏) 八角公園に近い緑道脇の方形のコンクリートの中心に円形の柱跡のようなものがみられるが、当時の信号機等の跡か？
 - ・(塚本氏) 緑道から八角広場へつながる部分に「工」の文字と思われる字が掘られ、赤く塗られた杭がある。
 - ・(小野田氏)「工」のマークは明治時代初期の工部省に由来するが、コンクリート製のため、おそらく戦後に作られたものと思われる。近くの道路との交差点にもそれらしき杭がみられる。
 - ・(小野田氏) 緑道や公園に西寒川支線を含めたわかりやすい愛称を考えると良いのでは。
 - ・(寒川町) 八角広場内の線路も廃線時のものであり、位置もそのままである。
 - ・(小野田氏) こちらのレールの重さは構内のもので 40 キロ程度かもしれない。
 - ・(塚本氏) こちらのバラストは角ばっており、当時のものでは無いのでは。
 - ・(塚本氏) 整備にあたって砂利を足した可能性あり
- 【(寒川町) 一之宮緑道、一之宮公園及び線路跡、八角広場は土地、建物とも寒川町所有及び管理】
- ・(森氏) 八角広場より南に相模海軍工廠があり、昭和期まで引き込み線が残っていた。
 - ・(森氏) 八角広場より南に延びる道路沿いに四之宮駅へ向かう線路があったと想定される。また現在の旭ファイバーあたりが平塚市四之宮飛地だったのでその周辺に駅があったのでは
 - ・(森氏) 四之宮駅から河原へ砂利採取の線路が伸びていた。ある時期まで一之宮第二排水樋管南の相模河川敷、現在の田端スポーツ公園西側付近に採取跡地かもしれない高まりがあったが現在は河川改修、公園整備で跡は見られない。
 - ・(萩原氏) 線路跡が廃線時のもので、移動されておらず原位置を保っているのであれば登録記念物となりうる
 - ・(萩原氏) 国県指定は難しいと思われるが、登録記念物であれば、図面があり、調査報告書等が整っていれば比較的可能性はあると思われる。
 - ・(小野田氏)「相模川流域誌」(国土交通省景品河川事務所)や「相模の砂利」(神奈川県)を調べると流水の歴史の概観がわかる。
 - ・(小野田氏) 廃線跡のみであり、駅舎や橋脚のようなものが無いので有形の登録は難しいと思われる。
 - ・(小野田氏) これまでの調査で鉄道関係はあるていど調べられているので、相模海軍工廠や砂利採取など周辺の歴史との関連性を広範囲に調べると何かストーリーが描けるかもしれない。最近の文化財行政では、世界遺産や日本遺産の認定で「ストーリー」が重視される傾向があるので、重要な部分である。